

## 2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年8月14日

上場会社名 トレンダーズ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6069 URL <https://www.trenders.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員CEO (氏名) 岡本 伊久男  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員CFO (氏名) 田中 隼人 TEL 03-5774-8876  
 四半期報告書提出予定日 2019年8月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第1四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	914	4.5	10	△96.7	9	△97.0	1	△99.3
2019年3月期第1四半期	875	-	321	-	325	-	210	-

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 △3百万円 (-%) 2019年3月期第1四半期 208百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	0.21	0.20
2019年3月期第1四半期	28.86	26.13

- (注) 1. 2019年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2019年3月期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。
2. 当社は、2018年10月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益金額」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額」を計算しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	2,448	2,123	86.5
2019年3月期	2,770	2,221	79.8

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 2,117百万円 2019年3月期 2,211百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	13.00	13.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期（予想）	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

(注) 当社は定款において第2四半期末日及び期末日を配当基準日と定めておりますが、2020年3月期につきましては、現時点で当該基準日における配当予想額は未定であります。

### 3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,300	14.7	180	△62.8	180	△63.4	125	△60.6	16.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期1Q	7,456,800株	2019年3月期	7,456,800株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	150,210株	2019年3月期	150,210株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期1Q	7,306,590株	2019年3月期1Q	7,293,456株

(注) 当社は、2018年10月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料はT D n e t で同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6
(後発事象)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

2018年の日本のインターネット広告市場は前年比16.5%増の1兆7,589億円と急速に拡大しており(株式会社電通調べ)、SNSユーザーも年々増加しております。また、EC市場は2018年に17.9兆円規模に達しています(経済産業省調べ)。

こうした環境のもと、当社グループにおいては企業のPR・プロモーションを主にデジタル・SNS領域で支援する「マーケティング事業」、ギフトECサービス「Anny」を運営する「ギフトEC事業」、未上場企業等に投資を行う「インベストメント事業」の3つの事業を展開しております。

マーケティング事業においては、インフルエンサーマーケティング領域や運用型広告領域、MimiTVが順調に拡大してまいりました。その結果、マーケティング事業の当第1四半期連結累計期間の売上高は539,195千円(前年同四半期比15.3%増)、セグメント利益は88,315千円(前年同四半期比21.2%増)となりました。

ギフトEC事業については、「Anny」を一人ひとりに最適なギフトを提案するパーソナライズドギフトサービスへと発展させるため、当期も先行投資期間と位置づけ、サービス開発を継続してまいりました。その結果、ギフトEC事業の当第1四半期連結累計期間の売上高は37,315千円(前年同四半期比83.3%増)、セグメント損失は23,724千円(前年同四半期は16,175千円の損失)となりました。

インベストメント事業においては、新規投資および保有する有価証券の売却を行ってまいりました。その結果、インベストメント事業の当第1四半期連結累計期間の売上高は338,482千円(前年同四半期比12.6%減)、セグメント利益は34,277千円(前年同四半期比91.0%減)となりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は914,993千円(前年同四半期比4.5%増)、営業利益は10,527千円(同96.7%減)、経常利益は9,887千円(同97.0%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,514千円(同99.3%減)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は2,448,595千円となり、前連結会計年度末に比べ322,382千円の減少となりました。主な要因は売掛金が減少したことによるものであります。

#### (負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債は325,584千円となり、前連結会計年度末に比べ223,970千円の減少となりました。主な要因は、買掛金及び未払法人税等が減少したことによるものです。

#### (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は2,123,011千円となり、前連結会計年度末に比べ98,412千円の減少となりました。主な要因は、配当金の支払いにより利益剰余金が減少したことによるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の業績予想につきましては、2019年5月14日に公表いたしました内容から変更しておりません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	770,445	858,517
受取手形及び売掛金	659,007	313,926
営業投資有価証券	911,936	911,936
仕掛品	24,119	25,687
その他	79,089	31,044
貸倒引当金	△1,373	△742
流動資産合計	2,443,225	2,140,370
固定資産		
有形固定資産	124,359	119,685
無形固定資産		
のれん	68,439	60,772
その他	27,590	27,346
無形固定資産合計	96,029	88,119
投資その他の資産	107,363	100,419
固定資産合計	327,752	308,225
資産合計	2,770,978	2,448,595
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	239,112	122,772
未払法人税等	110,754	6,577
その他	170,593	167,119
流動負債合計	520,459	296,469
固定負債		
資産除去債務	29,095	29,114
固定負債合計	29,095	29,114
負債合計	549,554	325,584
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	555,068	555,068
資本剰余金	534,068	534,068
利益剰余金	1,240,623	1,147,002
自己株式	△118,183	△118,183
株主資本合計	2,211,576	2,117,955
新株予約権	2,818	2,818
非支配株主持分	7,028	2,236
純資産合計	2,221,423	2,123,011
負債純資産合計	2,770,978	2,448,595

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	875,264	914,993
売上原価	282,842	633,864
売上総利益	592,421	281,128
販売費及び一般管理費	271,315	270,601
営業利益	321,105	10,527
営業外収益		
有価証券利息	4,500	—
助成金収入	500	—
雑収入	—	54
その他	213	0
営業外収益合計	5,213	54
営業外費用		
支払利息	382	694
営業外費用合計	382	694
経常利益	325,936	9,887
特別損失		
減損損失	13,852	—
特別損失合計	13,852	—
税金等調整前四半期純利益	312,083	9,887
法人税、住民税及び事業税	90,319	6,100
法人税等調整額	13,703	7,064
法人税等合計	104,022	13,164
四半期純利益又は四半期純損失(△)	208,060	△3,276
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△2,393	△4,791
親会社株主に帰属する四半期純利益	210,454	1,514

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	208,060	△3,276
四半期包括利益	208,060	△3,276
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	210,454	1,514
非支配株主に係る四半期包括利益	△2,393	△4,791

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	合計 (注) 2
	マーケティング 事業	ギフトEC 事業	インベストメ ント事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	467,486	20,361	387,416	875,264	-	875,264
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	467,486	20,361	387,416	875,264	-	875,264
セグメント利益又はセグメント損失(△)	72,841	△16,175	379,183	435,848	△114,743	321,105

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△114,743千円は、全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

マーケティング事業において、一部サービスの展開を中止したことにより使用見込みのなくなったソフトウェアについて減損損失を計上しております。

当該特別損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては13,852千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

マーケティング事業において、当第1四半期連結会計期間に株式会社MimiTVの全発行株式を取得し連結子会社としました。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第1四半期連結累計期間においては71,536千円であります。



Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	合計 (注) 2
	マーケティング 事業	ギフトEC 事業	インベストメ ント事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	539,195	37,315	338,482	914,993	—	914,993
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	539,195	37,315	338,482	914,993	—	914,993
セグメント利益又はセグメント損失(△)	88,315	△23,724	34,277	98,868	△88,340	10,527

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△88,340千円は、全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(後発事象)

(社債の引受け)

当社は、2019年6月26日開催の取締役会において、クレアシオン・プリンシパル合同会社との間で第39回無担保普通社債引受契約を締結することを決議し、2019年6月28日付で締結し、2019年7月1日に取得が完了いたしました。

(1) 目的 純投資

(2) 契約の時期 2019年6月28日

(3) 第39回無担保普通社債の内容

- ①発行会社 クレアシオン・プリンシパル合同会社
- ②発行総額 500,000千円(1口100,000千円)
- ③引受口数 5口
- ④社債利息 年率6.0%
- ⑤償還の方法及び期限 満期一括償還。2019年9月30日にその総額を額面100円につき金100円で償還する。
- ⑥払込金額 500,000千円

(自己株式の取得)

当社は、2019年8月14日開催の取締役会において、会社法第459条第1項第1号及び当社定款の規定に基づき、自己株式取得に係る事項について決議しました。

詳細につきましては、同日公表の「自己株式取得に係る事項の決定に関するお知らせ」をご参照ください。